

事業所名 デイサービス TRY studio

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 4年 7月 26日(火) 13時00分~13時40分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 2022年2月からの利用実績報告 2. 人員体制および活動報告 3. 感染予防、災害対策について 4. 事故・苦情などの報告
利用者家族 1名	
地域住民の代表者 1名	
市職員 0名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 3名	
会議録	
<p>1. 2022年2月からの利用実績報告 現在の契約者数および認定区分について報告。 当事業所は2022年2月に開所。 「地域密着型通所介護および介護予防通所サービス」 7月15日時点12名 事業対象者(4名)、要支援1(2名)、要介護1(5名)、要介護3(1名) 「生活支援通所サービス」 7月15日時点5名 事業対象者(3名)、要支援2(2名) 「利用者の傾向」 ご依頼いただいている事業所は複数箇所からのご依頼であり、特定の事業所から集中しているということはない。 当事業所の特徴として、比較的認定区分の軽い方がご利用している。 歩行が自立ないし、軽介助で歩ける方が中心となっている。</p> <p>2. 人員体制および活動報告 ＜人員体制＞ 管理者1名、生活相談員2名、機能訓練指導員1名、看護師3名、介護職員4名で対応している。 ＜活動報告＞ 送迎サービス、体調チェック、マシンによる機能訓練、個別機能訓練、集団体操、レクリエーションなどを実施している。 写真を用いて、実際の活動の様子を供覧した。</p>	

3. 感染予防、災害対策について

<感染予防対策>

利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウイルスをはじめとした感染予防対策を実施。

※熱中症対策として、マシン運動中はマスクをずらして呼吸しやすいよう指示。

<災害対策>

年2回の防災訓練を予定している。令和4年8月に第1回を実施予定。

4. 事故・苦情などの報告

インシデント1件。

<現象>

スタッフの遅刻による迎え時間の遅延。代替りのスタッフが迎えに行き、利用者へ謝罪しサービス利用となった。

<発生要因>

スタッフが自宅から利用者宅へ直接迎えに行くシフトにしていた。

<対応>

スタッフは必ず一度出勤してから送迎に行く。

5. 質疑応答

- ・要支援や要介護の人しか利用できないのか？

→事業対象者の方も利用可能です。

包括支援センターに行き、相談すると認定調査が行われ、要支援や要介護でなくても、「事業対象者」と認定されればご利用可能です。

- ・利用している方が、継続利用が難しくなるのはどのようなケースか？

→自立した歩行が難しくなった方は難しい。

自立歩行が難しい方は、日常生活に様々な支障をきたすことが考えられます。そのような場合、ケアマネージャーと相談しながら、訪問サービスや1日型の通所介護などを利用して、運動だけでなく、食事や入浴支援を優先することが必要となることが考えられるため、継続が難しくなることが考えられます。

次回開催予定：令和5年2月頃。